

西川あり

ALI REPORT THO THO THE PORT THE PORT

vol.03 2020年 3月

新型コロナウイルス感染が拡大し、当たり前にあると思っていた日常が、実は脆く、壊れやすいものだったと実感しています。躍動の春を閉じこめながら、それでも新しい年度を迎えるにあたり、臆することなく元気で参りたいと思っています。皆さまのお心とお身体もご健勝でありますこと祈念しています。

発行:西川あり

八尾市本町2-2-23 TEL/FAX 072-923-0293

ご感想・ご意見をお待ちしています。 E-mail: alitomo0509@gmail.com





ホームページ

八尾市議会 3月定例会

個人質問

3月定例会本会議にて、主に次の 質問をさせていただきました

- 虐待防止対策における 在宅育児支援について
- 改正児童虐待防止法における 体罰禁止啓発について
- つどいの広場事業について
- いじめから全ての子どもを守るためについて
- 放課後等デイサービスの情報提供について
- ●その他

※詳しくは八尾市のホームページから ご覧いただけます。

(個人質問映像配信2020.2.27)



■虐待防止対策における在宅育児支援について

在宅育児支援の保育施設における一時預かり事業は、0歳児における育児負担の軽減、並びに虐待防止対策において、優先事項です。保育士不足から一時保育が実施できない施設もあるので、より一層の保育士確保への施策強化と、保護者のリフレッシュ目的でも利用可能であるという周知をしていくことで、誰もが使いやすい体制になる必要があります。

また、多胎児の子育てにおいては、 健診や支援を求めに行く移動手段 さえも難しいのが現状です。保育無 償化が進む中、在宅育児の実態 も把握した上で、全ての子に切れ 目のない支援が届けられるよう市に 求めていきます。



■放課後等デイサービスの 情報提供について

子どもの発達相談は年々増えており、放課後等デイサービスや児童発達支援の事業所を求める保護者も増えています。

実際に放課後等デイサービス を選ぶ時は、保護者自身が八尾市のホームページから探すのですが、検索システムが複雑で、子どもの発達に関わる将来の不安を抱えながら施設を選ぶのは、至難の業であり、配慮が足りないように思います。また、個人情報の観点から支援が引き継がれない場合もあります。子どもが安心して過ごせる環境を選べるようにコーディネーターの活用や他の地域で行われている「マッチングフェア」などの開催も期待します。



「いじめから子どもを守る課」が設置されるにあたり、子どもの権利条約をベースとし、子どもや保護者が相談しやすい体制であることが重要だと考えます。例えば川西市にある『子どもオンブズパーソン』のように、いじめだけでなく、体罰・虐待・差別・貧困・スクールセクハラ・不登校など、子どもが抱えるあらゆる課題を相談できる仕組みです。公私の学校園に関係なく、全ての子どもや保護者・教職員が対象になるよう市に求めていきます。

■つどいの広場事業について

これまで地域の在宅育児の拠点としての重要な機能を果たしてきた広場が施設の老朽化などに伴い見直しが検討されています。身近な相談場所として保護者や子どものケアをはじめ、虐待防止の大きな役割を果たす広場事業を、今後も市に求めていきます。

文教委員会

■若者支援について

若者支援事業も予算として組み込まれました。不登校、引きこもり、80-50問題など様々な社会問題に市としての取り組みが、やっと予算に反映されたと評価します。2020年度は、電話相談の民間委託、民間の支援団体への助成金に留まり、庁内検討が始まるところだとも聞きました。今後、民間だけでなく、庁内においても相談、支援、連携がスムーズに行われる仕組みづくりを構築していただき、官民連携した施策となるよう期待します。

■幼児教育・保育無償化による歳出について

2歳児保育無償化が、9月より市単費で始まります。次世代への投資、働く女性への支援につながるという考えからです。保護者が安心して働くには、保育所、保育士の確保、税の公平性からも、在宅育児家庭への支援、市内小中学生、高校生といった次世代への投資も忘れず、どの世代にとっても住みやすい八尾市を目指していけるようしっかり注目していきたいと思います。

請願書の態度表明について

■八尾市の全小中学校図書館に学校司書の配置を求める請願書

学校図書館は、学習支援だけではなく、在校生はもちろん不登校児童 生徒への居場所としても重要な存在であり、そこに従事する学校司書の 役割は重大だと考えます。請願では、まずはモデル校から実施となっていま すが、全ての小中学校の図書館に学校司書が配置されることを願います。

■小学校3年生以降での35人学級を求める請願書

35人学級、ダブルカウントが必要という点について、請願者の趣旨は理解できますが、課題は学校、クラスによって全く違うと考えます。一番は、学校がこうしたいという人員配置の要望を支援できる体制であって欲しいと願います。また、乳幼児期からインクルーシブ教育を進める本市が、ともに学び合う環境作りとは何かを真摯に検討し、その実行性を考えていただきたいという想いがあります。故に、請願者とは趣旨が違うと判断し反対の立場をとらせていただきましたが、今後も子どもたちにとって最善の利益となるよう、要望を挙げていきたいと考えます。

あ^{りの} KOBORE話

絵·ainor









2020年4月1日より施行される 改正児童虐待防止法における 体罰禁止啓発の取り組み

2018年の東京・目黒区の事件や、2019年の千葉 県野田市で起きた事件など、虐待によって子どもの命が 奪われてしまう事件が相次ぎ、こうした事件を受け、児童 虐待防止策を強化する目的として改正されました。

この改正に伴い、八尾の仲間たちが、親を追い込むのではなく社会で子育てをサポートする「みんなで育児を支える八尾」を啓発するため、新しく活動を始めました!

おとなへのアプローチと、子どもが暴力をはね返す力を育てるために、何ができるか考えて行動します。何より、子どもの声を聴き、そして、多くの保護者の声をふわりと受け止めたい。そこから一緒に考えていきたいと思いました。



子どもの権利条約キャンペーンバッチ

1年目から2年目へ

3月26日の本会議で2020年度の八尾市の予算が決議されました。その予算をもって様々な事業が行われます。その中で、八尾市の全中学生は「脱傍観者教育」を受けます。いじめをまず止めるには周りにいる人が、無関心や無視を止めることからだと、自分ごとに捉えて欲しいという思いからですが、子どもたちにだけ強いるのではなく、私たち大人が変わらなければならないと考えます。子どもたちは大人のしていることをよく見ています。恥ずかしくない大人でいたいと私は思っています。でもそれは、本当に自己との戦いですね。

しつけという名目で子どもに不快な思いをさせてはならないという法律ができました。それもまた、私たちは新しい育児のやり方を学べるチャンスだと思っています。

一緒に学ぶ仲間を募集中です!

西川 あり